

金融機関を装ったメールにご注意ください

金融機関を装い、メールにウイルスとみられるファイルを添付し送付する事例が報告されています。

メールによるウイルス送付の手口は年々巧妙化しております。件名や本文だけでなく、送信元のメールアドレスも詐称され、本物と区別がつかない場合があります。

下記の特徴に該当しない場合でも、必要なメール以外は開封せずに削除する、必要と思われるメールについても開封前にウイルスチェックの実施や発信元へ確認するなどの対応をお勧めします。

【昨今、発見されたウイルスメールの特徴】

■送信元

- ・ 実在する企業や金融機関を連想させるメールアドレス
※送信元は詐称されている場合があります。本物のメールアドレスと一致している場合でも、注意が必要です。

■件名

- ・ 実在する企業や金融機関の名前を含んだ件名
- ・ インターネットバンキングのご案内を装った件名

■本文

- ・ 不自然な日本語や英語で、添付ファイルの確認を促す本文
- ・ 添付されているファイルのパスワードが記載された本文

■添付ファイル

- ・ 件名や本文と関連していないファイル名
- ・ ランダムに英数字を組み合わせたファイル名
- ・ 英単語、記号と受信日前日の年月日を組み合わせたファイル名
- ・ 形式、拡張子が「.xlsm」「.doc」となっているファイル（圧縮され「.zip」となっている場合もある。）

以上